

授業科目(ナンバリング)	臨床医学入門I (IA219) (実践的教育科目)			担当教員	廣田 昌彦 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	2年・前期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
管理栄養士による栄養指導は、健康管理、疾病の予防・治療において必要不可欠である。特に管理栄養士が医療チームの一員として活動するためには、医学の基本的知識を修得しておくことが重要である。本科目では、臨床的に頻度の多い一般的な疾患や生活習慣病などの「食」との関連が深い疾患について、その成因、病態、治療などの基本的事項を理解し、説明できることを目標としている。							① ② ③ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	様々な疾病・病態について、その知識を体系的に理解して説明できる。修得した臨床医学に関する専門知識を、分かりやすく明確に伝えることができる。				・定期試験 ・小テスト	60% 15%	
情報収集、分析力	臨床医学に関して必要な情報を、信頼できる情報源から効率よく収集することができる。臨床医学に関する情報を様々な角度から批判的に検討することができる。				・定期試験 ・小テスト	10% 5%	
協働・課題解決力	臨床医学に関する課題を的確に把握し、他の人と協力して、課題解決に向けた方策を立案し、着実に実行できる。				・授業態度・授業への参加度	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価点は、定期試験の結果を70%とし、10回目に実施する小テストの結果を20%として算定する。授業態度・授業への参加度は、授業中の態度、取り組み、関心・意欲、質問等に対する返答で、10%として評価する。小テストについては、授業において解説し、フィードバックする。							
授業の概要							
内科医としての臨床経験に基づき、本科目では、生活習慣病を含む一般的な疾患について、臓器・機能別(循環器系、消化器系、呼吸器系、代謝・内分泌系、造血器系、その他)に分類し、各々の解剖・生理、疾患の成因、病態、診断・治療、予防法の基本的事項に関する授業を行う。また、授業中に多くの質問を投げかけ、これに対するディスカッションをする時間をとっている。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学習時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書： 栄養科学シリーズNEXT「臨床医学入門」第2版 武田英二、河田光博(編) 講談社 参考書： 適宜紹介する。 指定図書： 栄養科学シリーズNEXT「臨床医学入門」第2版 武田英二、河田光博(編) 講談社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
管理栄養士は、健康の維持・増進に栄養面から寄与するのみならず、疾病の予防・治療にも医療チームの一員として活動するように位置づけられている。したがって、一般的な栄養に関する知識・技能のみならず、医学・医療に関する実践的な幅広い知識を身に付け、応用できるように努力されることを期待する。このためには、学内だけの学修にとどまらず、自宅や社会の中においても、常に新しい医学的な情報に接するようにしてほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	からだと臨床医学	臨床医学について、身体を構成する化合物、栄養素の代謝、遺伝子と病気	予習：教科書 p1～13 復習：臨床医学についてのまとめ
2	病気はどのようにして起こるか。	病気の起こるメカニズム	予習：教科書 p14～22 復習：病気の成因についてのまとめ
3	病気はどのようにして診断し、治療するのか	病気の成り立ち、臨床での診断、臨床での治療法	予習：教科書 p24～33 復習：病気の診断、治療についてのまとめ
4	脳の疾患	脳疾患（脳血管障害・認知症・脳腫瘍・脳炎・脳症・BSE・パーキンソン病、その他）、精神疾患（うつ病・統合失調症・摂食障害・アルコール依存症・薬物依存症）	予習：教科書 p34～44 復習：脳疾患、精神疾患についてのまとめ
5	目・耳・鼻・口、のどの疾患	白内障・緑内障・網膜疾患、中耳・副鼻腔疾患、虫歯・歯周病、口内炎・舌炎・舌がん・扁桃炎	予習：教科書 p45～52 復習：眼科、耳鼻咽喉科的疾患についてのまとめ
6	胸部の疾患	呼吸器疾患（気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・肺炎・肺結核・肺がん）、心疾患（狭心症・心筋梗塞・心不全）、食道疾患（食道がん）	予習：教科書 p53～62 復習：呼吸器、心臓、食道疾患についてのまとめ
7	腹部の疾患(1)	胃炎・消化性潰瘍（胃・十二指腸）胃がん・炎症性腸疾患（クローン病・潰瘍性大腸炎・胃食道逆流症・タンパク漏出性胃腸症・吸収不良症候群・過敏性腸症候群・便秘・腸閉塞（イレウス）・大腸がん・直腸がん・痔核	予習：教科書 p64～72 復習：消化管疾患についてのまとめ
8	腹部の疾患(2)	肝・胆疾患（肝炎・脂肪肝・肝硬変・肝不全・肝がん・胆のう炎・胆石症）・膵疾患（膵がん・膵炎）	予習：教科書 p73～79 復習：肝・胆・膵疾患についてのまとめ
9	腹部の疾患(3)	慢性腎臓病（CKD）、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全と透析療法、腎・尿路結石、腎盂腎炎、膀胱炎、腎がん、膀胱がん	予習：教科書 p80～92 復習：腎疾患、泌尿器疾患についてのまとめ
10	全身の疾患(1)	糖尿病、脂質異常症、肥満症、高尿酸血症・痛風 小テスト	予習：教科書 p93～102 復習：代謝性疾患についてのまとめ
11	全身の疾患(2)	先天性代謝異常症 内分泌疾患	予習：教科書 p103～109 復習：代謝性疾患、内分泌疾患についてのまとめ
12	全身の疾患(3)	血管疾患（動脈硬化・高血圧）、血液疾患（貧血・白血病・血小板減少症・血友病）	予習：教科書 p110～118 復習：血管、血液疾患についてのまとめ
13	全身の疾患(4)	免疫疾患（アレルギー疾患、免疫不全、自己免疫疾患（リウマチ・膠原病））、その他（肺血症・多臓器不全）	予習：教科書 p119～123 復習：免疫疾患についてのまとめ
14	全身の疾患(5)	骨疾患（運動器の外傷・骨粗しょう症・骨軟化症・くる病・椎間板ヘルニア・変形性関節症）、筋疾患（進行性筋ジストロフィー）、皮膚疾患（じよく創・ヘルペスウイルス感染症）	予習：教科書 p124～130 復習：骨・筋・皮膚疾患についてのまとめ
15	女性・男性の疾患	乳腺疾患（乳腺症・乳がん）、子宮・卵巣疾患（子宮筋腫・子宮内膜症・子宮がん）、卵巣疾患（卵巣のう腫・その他） 更年期障害、前立腺疾患（前立腺肥大症・前立腺がん）	予習：教科書 p131～140 復習：女性、男性の疾患についてのまとめ
16	定期試験		